土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川　太田川水系　寺山川外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.3-寺条川右支7隣	調査位置	広島県広島市東区福田町	北緯	34° 26' 48.6387"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 3月22日～ 令和3年 3月23日	東経	132° 31' 48.4021"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 220.50m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	24° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B-58 / エンジン：ヤンマーTF120M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1				礫混じり粘土質砂		灰褐～褐	rd4		木根を混入する 中～粗砂を主体とする 径2～4cm以下の礫を20～30%程度混入する GL-1.0m付近にL=15cm の玉石が混在する		0 10 20 30 40 50 60	19	1.35	6	5	8	19/300						
2	218.20	2.30										50	1.65 2.15	6	13	31	50/300	300					
3	216.70	3.80		花崗岩		灰褐			DM級岩盤 土砂～礫状コアで採取するがハンマー軽打で崩れる 部分的にやや硬質な礫状コアが残存する			50以上	2.45 3.05 3.18	38	12/30		50/130	130						
4	216.20	4.30		花崗岩		灰褐			DH級岩盤 L=5～10cmの礫状～岩片状コアで採取するがハンマー軽打で崩れる			50以上	4.05 4.08	50/30			50/30	30					3/22
5				花崗岩		灰褐			CL級岩盤 短柱状～岩片状コアで採取するがハンマー軽打で割れる コア肌は粗い 亀裂沿いに風化が進行し土砂化している	3/23 5.25														
6	214.50	6.00																						3/23
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								